

◎ 定例会 『やよい交流会』 3月6日(木) 曇り 参加者12名
～大衆演劇を鑑賞し江戸の情緒を楽しみました～



前日の都内は雪と雨で寒い一日でした。当日は寒い分、人出も少なくゆったり歩けました。浅草木馬館は老舗(しにせ)劇場で、歴史は古く人気の大衆演劇場です。今回は、見海堂(みかいどう)劇団の「剣と笑いと涙のお芝居」を鑑賞しました。12時開演ですが、早めに着いたので、弁当を注文したり、持参の弁当を食べたりし、開演を待ちました。第一部は暎(まぶた)の母です。死別し、会えないが記憶や夢の中だけにある母の面影です。原作は1930年に書かれた戯曲です。見海堂では、母との別れ(涙)、五両のか

ぞえ方で相手をだます(笑い)、剣でヤクザの敵を倒す等の新作を演じています。

第二部では歌謡ショーで歌に合わせて踊ります。「雪深々、川の流れのように」から始まりました。総座長の真之介が踊ると、ファンがおひねり(1万円)を数枚、和服に入れていました。これも伝統なのでしょう。団員もそれぞれ踊り、しなやかさ、美しさを競います。3時20分に公演が終わり、表に出て集合写真を撮り、解散しました。



< 報告：仲 政雄 >